

第251回教育研究評議会議事要録

1 日 時 令和6年2月16日(金) 13:30～14:15

2 場 所 事務局第1会議室

3 議 事

(1) 長崎大学経営協議会委員(学外委員)に係る意見聴取について

議長から、資料1に基づき、令和6年3月31日付けで任期満了等となる経営協議会学外委員5名の再任及び4名の新任について、長崎大学経営協議会規則第3条第1項第4号に基づき、教育研究評議会の意見を伺う旨の説明があり、審議の結果、了承された。

(2) 長崎大学における大学発ベンチャー企業への支援の対価として取得する株式等取扱規程の制定等について

理事(研究・戦略企画担当)から、資料2に基づき、大学発ベンチャー企業を育成支援し、本学の研究開発の成果の活用及び社会実装を促進することを目的として、本学の研究成果に係るライセンス供与等の対価を現金に代えて取得する株式等の取扱いに関し必要な事項を定めるため、「長崎大学における大学発ベンチャー企業への支援の対価として取得する株式等取扱規程」及び「長崎大学株式等取扱委員会規程」を制定すること、また、「長崎大学研究開発推進機構規則」を一部改正することについて説明があり、審議の結果、了承された。

(3) 「サルの飼養に係る手続き等について(学長裁定)」の制定について

理事(研究・戦略企画担当)から、資料3に基づき、学長の承認を得た動物実験計画において、サルを飼養する場合の手続きを定めるため、「サルの飼養に係る手続き等について(学長裁定)」を制定することについて説明があり、審議の結果、了承された。

4 報告事項

(1) 新・学長補佐制度(仮称)の創設及び法定外会議の見直し方針について

議長及び理事(財務・施設担当)から、資料4に基づき、若手教員に理事の下で学長補佐(仮称)として業務を経験させ、次代の経営を担うマネジメント人材の育成を図り、ガバナンス体制を強化するとともに教職協働を実現させるため、新・学長補佐制度(仮称)を創設すること、また、教員の教育研究時間の確保を目的として、学内会議の精査を行い、会議の実質化・効率化を図るための法定外会議の見直し方針を策定することについて、報告があった。

(2) 第4期中期目標・中期計画の指標に係るルーブリック入力について

理事(教務担当)から、資料5に基づき、第4期中期目標・中期計画において令和6年度から、ルーブリック入力率を毎年度75%以上にすることが指標となっていることについて、報告があった。

以上